

# ファーストイーサネット・タップスイッチ CentreCOM FS708TP ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM FS708TPをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、10BASE-T/100BASE-TXオートネゴシエーションポートを8ポート装備したタップ型のファーストイーサネット・スイッチです。本製品の使用により、既存のイーサネットLANシステムにおけるアプリケーションやネットワークソフトウェアの変更を必要とせず、簡単にパフォーマンスを向上させることができます。本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

## ● 特長

- 8,000個のMACアドレス登録数をサポート
- Half Duplex時のフローコントロール(バックプレッシャー機能)をサポート
- オートネゴシエーション機能をサポート
- カスケードポートを1ポート装備
- 信頼性の高いストア&フォワードのスイッチングモード
- AC電源を内蔵
- ポートごとの通信状況が一目でわかるLEDを装備
- マグネットやウォールマウントキットで垂直面への設置可能

## ● 梱包内容

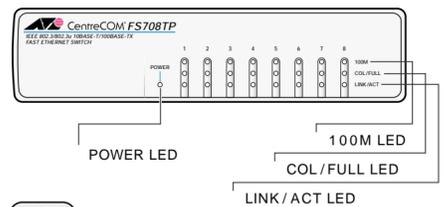
最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかを確認してください。

- CentreCOM FS708TP 本体(1台)
- ウォールマウント用タッピングスクリュー(2個)
- ウォールマウント用プラスチックアンカー(2個)
- 製品保証書(3年保証)
- お客様インフォメーション登録カード
- シリアル番号シール
- ユーザーマニュアル(本書)

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

## ● 各部の名称と機能

### 上面



### 前面



### 底面

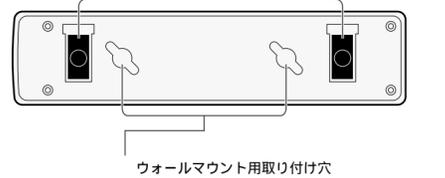


図1 外観図

- POWER LED(緑)**  
電源が正しく供給されているときに点灯します。
- 100M LED(緑)**  
ポートが100Mbpsで動作しているときに点灯します。(ポートが10Mbpsで動作している場合は、点灯しません。)
- カスケードポート(= HUBポート)の100M LEDは、ポート1(X PCポート)と共用になっています。**
- COL/FULL LED(緑)**  
ポートがFull Duplexで動作しているときに点灯します。また、コリジョン発生時に点滅します。
- カスケードポート(= HUBポート)のFULL LEDは、ポート1(X PCポート)と共用になっています。**
- LINK/ACT LED(緑)**  
ポートと接続先の機器がリンクしたときに点灯します。また、ポートがバケットを送受信しているときに点滅します。
- カスケードポート(= HUBポート)のLINK/ACT LEDは、ポート1(X PCポート)と共用になっています。**

**カスケードポート(= HUBポート)**  
100BASE-TX、または10BASE-TのUTPケーブルを接続するためのコネクタです。これらのポートはオートネゴシエーション機能をサポートしているため、最適な通信速度(10Mbps/100Mbps)と通信モード(Full Duplex/Half Duplex)を自動設定します。

**カスケードポート**はポート1と共用のため、ポート1を使用している場合は使用できません。

**10BASE-T/100BASE-TXポート**  
100BASE-TX、または10BASE-TのUTPケーブルを接続するためのコネクタです。これらのポートはオートネゴシエーション機能をサポートしているため、最適な通信速度(10Mbps/100Mbps)と通信モード(Full Duplex/Half Duplex)を自動設定します。

**マグネット**  
デスクサイドやスチール製パーティションなどに設置するためのマグネットです。

**ウォールマウント用取り付け穴**  
同梱のウォールマウントキットを使用して、壁面に設置するための取り付け穴です。

## ● 設置するまえに

**設置場所**  
本製品を設定する場所については、次の点にご注意ください。

電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような配置はさけてください。直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。振動の多い場所や、不安定な場所に設置しないでください。十分な換気ができるように、本体上面、および側面をふさがないように設置してください。テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。指定された電源電圧(AC100-120V)以外で使用しないでください。

**マグネットによる取り付け**  
本体底面のマグネットを使用すると、本製品を簡単に金属面へ取り付けすることができます。  
設置面の状態によってはマグネットの十分な強度を得られないことがあります。

ケーブルの重みにより、機器が落下しないように確実に取り付けてください。落下により、ケガの原因となることがあります。

マグネットで機器を高所に取り付けしないでください。機器の落下により、ケガの原因となることがあります。

マグネットで機器を振動、衝撃の多い場所や不安定な場所に取り付けしないでください。機器の落下により、ケガの原因となることがあります。

マグネットで機器をOAデスクなどに取り付けただまま、機器をずらさないでください。被着面の塗装などに傷がつくおそれがあります。

マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。磁気の影響により、記録内容が消去されるおそれがあります。

マグネットをパソコンやディスプレイなど、磁気の影響を受けやすい電子機器に近づけないでください。磁気の影響により、故障の原因となることがあります。

**壁への取り付け**  
付属のウォールマウント用タッピングスクリュー(必要場合は、プラスチックアンカー)を使用すると、本製品を壁などの垂直な面に取り付けることができます。

石膏ボード、ベニヤなど、中空になっている壁に取り付ける場合は、プラスチックアンカーを併用してください。本体とUTPケーブルを合わせ、最大3kg程度の垂直重量が加わりますので、取り付けはしっかりした壁に行ってください。手で押しただけでへこんでしまうような壁には取り付けないでください。

- 次の点を考慮して、設置場所と設置方向を決めてください。
  - ケーブルおよびアダプタの接続が可能であること
  - LEDの表示が監視可能であること
- タッピングスクリューを埋め込む位置を決めます。このとき、タッピングスクリューの間隔が本体底面にある2つの取り付け穴の間隔(100mm)と同じになるように注意してください。  
壁にタッピングスクリューを直接つけることができない場合は、プラスチックアンカーを使用します。プラスチックアンカーは、あらかじめきりやドリルなどで開けておいた穴に挿し込み、かなづちで軽くたたいて壁に埋め込みます。穴はプラスチックアンカーがやっと入る程度の大きさにしてください。穴が大きすぎるとがたつきの原因となります。
- ネジ頭を5mmほど残して、タッピングスクリューを壁または、プラスチックアンカーにねじ込みます。
- 壁から突き出ているネジ頭を本体底面の取り付け穴に差し込むようにして、本体を壁に取り付けます。ネジ頭がスロットにはまるまで本体をスライドさせ、しっかり固定させてください。

## ● 接続のしかた

**ケーブル**  
すべてのケーブルが機器間を接続するために適切な長さであることを確認します。本製品と端末を接続するケーブルの長さ、また、本製品とリピータやスイッチを接続するケーブルの長さはすべて100m以内にしてください。また、ケーブルは100BASE-TXの場合はカテゴリ5、10BASE-Tの場合はカテゴリ3以上のUTPケーブルを使用してください。

**起動と停止**  
図2のように電源コードのプラグを電源コンセントに差し込むと起動します。電源プラグをはずすと停止します。



図2 電源コードの接続

**通信モード**  
接続先の機器の通信モードは、表1の印の組み合わせになるように設定してください。IEEE 802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない機器と本製品を接続する場合は、接続先の機器の通信モードをHalf Duplexに設定します。

		自ポート (CentreCOM FS708TP)
相手ポート	10M Half	
	10M Full	
	100M Half	
	100M Full	
	オートネゴシエーション	

表1 通信モードの組み合わせ

**接続手順**  
1. 本体前面の10BASE-T/100BASE-TXポートにUTPケーブルを接続します。

2. ネットワークに接続する端末に、10BASE-T/100BASE-TXネットワークインターフェイスカードが正しく取り付けられていることを確認して、UTPケーブルのもう一方を端末のネットワークインターフェイスカードに接続します。

3. 電源コードのプラグを電源コンセントに差し込みます。  
4. 本体上面のPOWER LED(緑)が点灯したことを確認します。UTPケーブルが正しく接続され、端末の電源が入っていれば、接続したポートのLINK/ACT LED(緑)が点灯します。

## ● スタンドアローン

本製品は単純なスタンドアローンの環境で使用することができます。本製品と端末間のUTPケーブルの長さは100m以内です。

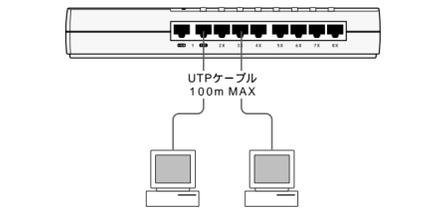


図3 スタンドアローンの接続例

## ● カスケード接続

カスケードポート(= HUBポート)を使用すると、ケーブルをクロスタイプに変更することなく、簡単にカスケード接続を行うことができます。また、スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。  
カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。

本製品とリピータやスイッチを接続するUTPケーブルの長さは100m以内です。

カスケード接続をする場合は、本体前面のカスケードポート(= HUBポート)にUTPケーブル(ストレートタイプ)を接続し、UTPケーブルのもう一方の端を、接続先の機器の通常の10BASE-T/100BASE-TXポートに接続します。

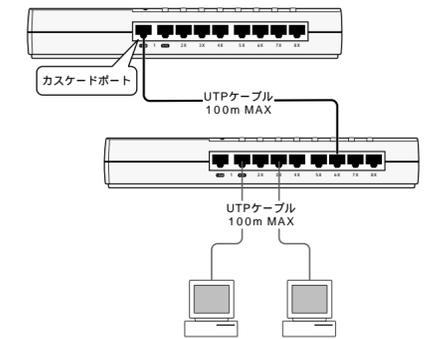


図4 カスケード接続の例

## ● トラブルシューティング

本製品が正しく動作しない場合は、次のことを確認してください。

**POWER LEDは点灯していますか?**  
POWER LEDが点灯しない場合は、電源コードに断線がないか、電源コードが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

**LINK/ACT LEDは点灯していますか?**  
LINK/ACT LEDは接続先の機器と正しく接続されているときに点灯します。点灯しない場合は、次のことを確認してください。

接続先の機器に電源が入っているかを確認してください。また、端末に取り付けられているネットワークインターフェイスカードに障害がないか、ネットワークインターフェイスカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。本製品と端末を接続するケーブルの長さ、本製品とリピータやスイッチを接続するケーブルの長さはすべて100m以内です。

接続先の機器の通信モードを確認してください。本製品の10BASE-T/100BASE-TXポート(カスケードポート)は、オートネゴシエーション機能をサポートしています。IEEE 802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先の機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。

本製品のカスケードポートを確認してください。本製品のカスケードポート(= HUBポート)を使用して、リピータやスイッチとカスケード接続する場合は、本製品のカスケードポートと他のリピータやスイッチの通常の10BASE-T/100BASE-TXポートをUTPケーブル(ストレートタイプ)で接続してください。

リピータを接続している場合、リピータの数が制限を越えていないか確認してください。10Mbps接続の場合、本製品にカスケードできるリピータの数は4段までとなります。100Mbps接続の場合、本製品にカスケードできるクラスIリピータの数は1段、クラスIIリピータの数は2段までとなります。

特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

## ● 製品仕様

- サポート規格**  
IEEE802.3/IEEE802.3u
- 転送モード**  
ストア&フォワード方式
- 電源部**
  - 定格入力電圧 : AC100-120 V
  - 入力電圧範囲 : AC90 ~ 132V
  - 定格周波数 : 50/60Hz
  - 平均消費電力 : 5.0W(最大5.5W)
  - 平均発熱量 : 4.3kcal/h(最大4.73kcal/h)

- 環境条件**
  - 保管時温度 : -20 ~ 60
  - 保管時湿度 : 95%以下(ただし、結露なきこと)
  - 動作時温度 : 0 ~ 40
  - 動作時湿度 : 80%以下(ただし、結露なきこと)

**外形寸法(突起部含まず)**  
25(W) x 57(D) x 38(H)mm

- 重量**  
445g
- MACアドレス登録数**  
8,000個
- メモリ容量**  
1ポートあたり最大256KByte  
(トラフィックの高いポートに優先割り当て)
- 適用規格**
  - EMI規格 : VCCIクラスA
  - 安全規格 : UL1950

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## ● 保証

製品に添付されている「製品保証書」、「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

**保証の制限**  
本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

# 調査依頼書 (CentreCOM FS708TP)

年 月 日

## ● ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記のサポート先にFAXしてください。  
電話による直接の問い合わせはなるべくご連絡ください。  
FAXで詳細な情報をお知らせいただくと、電話によるお問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。  
記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

アライドテレシス サポートセンター

Tel: 0120-860-772  
月～金(祝・祭日を除く)9:00～12:00, 13:00～18:00  
土(祝・祭日を除く)10:00～17:00  
Fax: 0120-860-662  
年中無休 24時間受け付け

## ● 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。  
迅速に障害の解決を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点にそってご記入ください。記入用紙に書き切れない場合は、プリントアウトなどを別途添付してください。

## ● 使用しているハードウェアについて

製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品の底面に貼付されているバーコードシールに記入されています。

(例)  S/N 000770000002346 Rev AA

## ● お問い合わせ内容について

どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に(再現できるように)記入してください。  
エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

## ● ネットワーク構成について

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。  
他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

## ● おことわり

本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部、または全部をコピー、または転載することを禁じます。  
予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。  
改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。  
本製品の内容、またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 2000 アライドテレシス株式会社

## ● 商標

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。  
イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

## ● マニュアルバージョン

2000年3月 Rev.B 初版

## 一般事項

### 1. 御社名:

部署名:

ご担当者:

ご連絡先住所: 〒

TEL: ( )

FAX: ( )

### 2. 購入先:

購入先担当者:

購入年月日:

連絡先(TEL): ( )

## ハードウェアとネットワーク構成

### 1. ご使用のハードウェア機種(製品名)、シリアル番号、リビジョン

製品名: CentreCOM FS708TP



### 2. お問い合わせ内容

別紙あり

別紙なし

設置中に起こっている障害

設置後、運用中に起こっている障害

### 3. ネットワーク構成図

別紙あり 別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

## 安全のために

必ずお守りください



### 警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない  
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない  
感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物はいれない 水は禁物  
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



異物厳禁

通風口はふさがらない  
内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがらない

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気あたる場所には置かない  
火災や感電の原因となります。



設置場所注意

表示以外の電圧では使用しない  
火災や感電の原因となります。本製品はAC100 - 120Vで動作します。



電圧注意

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない  
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

設置・移動のときは電源プラグを抜く  
感電の原因となります。



プラグを抜く

電源ケーブルを傷つけない  
火災や感電の原因となります。  
電源ケーブルやプラグの取扱上の注意:  
・加工しない、傷つけない。  
・重いものを載せない。  
・熱器具に近づけない、加熱しない。  
・電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



傷つけない

・振動の激しい場所  
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所(静電気障害の原因になります)  
・腐食性ガスの発生する場所



静電気注意  
本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



取り扱いはいねいに  
落としたり、ぶついたり、強いショックを与えないでください。



### お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で  
誤動作の原因となります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く  
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



お手入れには次のものは使わないでください  
・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん  
(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。)



シンナー類不可